



神を仰ぎ、人に仕う

Chapel News

2017年1月

No.15

「新たな希望にむかって」

怠らず励み、霊に燃えて、主に仕えなさい。

希望をもって喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りなさい。

ローマの信徒への手紙 12章 11～12節

クリスマスを喜びに満たされながら祝い、そして新しい年を迎えました。皆さんもそれぞれに新たな一年を新たな気持ちでむかえようとしていることと思います。

聖書では、希望についていくつかの箇所ですべて、希望は、信仰・希望・愛と並べて、三つの主要な徳とされてきました。神様とむきあう人間のいづく徳のひとつを、救いの完成を待ち望むという意味で希望ということばであらわします。

日本にキリスト教(キリシタンの教え)がはじめて伝えられたのは、16世紀でした。この時期に、希望は「頼もしく存じ奉る」と訳してつかわれました。今の私たちの語感とはだいぶ異なる訳を当てたように見えます。しかし神への希望、神による人間の救いを待望するというキリスト教本来の教えからみると、希望にあたる原語に、神を信頼し委ねるというわかりやすい言葉をあてたことは、大變的確な訳語であったということができます。当時「希望」という言葉はありましたが、それは、ありえないことを望む、むなししい願いという仏教的なニュアンスがあったこともあり、このような訳があてられたのでしよう。

わたしたちは人生において、自分らしい希望を抱いて歩んでいきます。そうした人間的希望を考えると、神に対する希望の原義は、多くのことを教えてくれます。希望とはありえないことを望むことではありません、希望をもってすすむとは、同時に日々の私たちの歩みが着実に希望への自己研鑽であり努力を意味するというのです。希望は確実に日々の私たちの歩む方向を指し示してくれます。希望の前で私たちは日々、その実現にむけてその歩みを着実に続けていくことが肝要である、ということを知って教えてくれます。

(学長 清水 正之)

2016年度年間聖句

また、はっきり言うておくが、どんな願ひ事であれ、あなたがたのうち二人が地上で心を一つにして求めるなら、わたしの天の父はそれをかなえてくださる。

マタイによる福音書 18章 19節

1月月間聖句

どんなことでも、思い煩うのはやめなさい。何事につけ、感謝を込めて祈りと願ひをささげ、求めているものを神に打ち明けなさい。そうすれば、あらゆる人知を超える神の平和が、あなたがたの心と考えとをキリスト・イエスによって守るでしょう。

フィリピの信徒への手紙 4章 6～7節

聖学院教会祈禱会

毎週木曜日 18時40分～19時40分、緑聖ホールC室にて行っております。
どなたでも自由にご参加ください。

・1月 5日(木) <休 会>

・1月 12日(木) 創世記 7章 東野 尚志 牧師

全学礼拝期間について

2016年度秋学期の全学礼拝は、下記日程で行っています。毎週火曜日から金曜日、14時40分から15時10分です。どなたでも自由にご参加ください。

秋学期/9月27日(火)～2017年1月20日(金)

主の祈り

天にましますわれらの父よ
ねがわくはみ名をあげさせたまえ
み国をきたらせたまえ
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ
我らの日用の糧を今日も与えたまえ
我らに罪をおかすものを我らがゆるすごとく
我らの罪をもゆるしたまえ
我らをこころみにあわせず 悪より救い出したまえ
国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり



アーメン

1月6日(金)

奨励者 松本 周
 (キリスト教センター主事・本学講師)
 司会者 柳田 洋夫
 奏楽者 今村 優子
 ◆ ◆ ◆
 前 奏
 讃美歌 二編 152 番 1、2 節
 聖 書 マタイによる福音書
 2 章 1～12 節(新約 P.2)
 祈 禱
 奨 励 「新しい別の道」
 祈 禱
 讃美歌 二編 152 番 3 節
 主の祈り
 後 奏

ご案内

冬のリトリート

テーマ
 「より良い社会をつくるために
 一人にできることは？」
 日程：2月9日(木)
 ～10日(金)
 場所：森林公園
 ホテルヘリテイジ
 費用：5,000 円
 (1泊3食付)
 申込み〆切：1月20日(金)
 ご不明な点はキリスト教センター
 までお問い合わせください。
 冬のリトリート実行委員

1月10日(火)

一人を祝う礼拝

奨励者 菊地 順
 (大学・政治経済学部チャプレン)
 司会者 柳田 洋夫
 奏楽者 富岡 真奈
 ◆ ◆ ◆
 前 奏
 讃美歌 452 番 1、2 節
 聖 書 ガラテヤの信徒への手紙
 6 章 1～6 節(新約 P.350)
 祈 禱
 奨 励 「重荷を担う」
 祈 禱
 讃美歌 452 番 3 節
 主の祈り
 後 奏

1月11日(水)

奨励者 渡辺 英人
 (入試広報部長・政治経済学科准教授)
 司会者 阿部 洋治
 奏楽者 倉橋 基
 ◆ ◆ ◆
 前 奏
 讃美歌 312 番 1、2 節
 聖歌隊による讃美奉献
 “What a Friend We Have in Jesus”
 聖 書 創世記
 12 章 2 節(旧約 P.15)
 祈 禱
 奨 励 「さあ始めよう」
 祈 禱
 讃美歌 312 番 3 節
 主の祈り
 後 奏

「平和の祈り」—アッシジの聖フランシスコ

神よ、わたしを、
 あなたの平和のために用いてください。
 憎しみのあるところに、愛を、
 争いのあるところに、和解を、
 分裂のあるところに、一致を、
 疑いのあるところに、真実を、
 絶望のあるところに、希望を、
 悲しみのあるところに、よろこびを、
 暗闇のあるところに、光をもたらすことができるように、
 助け、導いてください。



神よ、わたしに、
 慰められることよりも、慰めることを、
 理解されることよりも、理解することを、
 愛されることよりも、愛することを望ませてください。
 わたしたちは、与えることによって、与えられ、
 すずんでゆるすことによって、ゆるされ、
 人のために死ぬことによって、永遠に生きることができるからです。

(日本カトリック司教協議会訳)

1月12日(木)

奨励者 大高 研道
 (政治経済学科教授)
 司会者 阿部 洋治
 奏楽者 相川 徳孝
 ◆ ◆ ◆
 前 奏
 讃美歌 532 番 1、2 節
 聖 書 箴言
 1 章 7 節(旧約 P.990)
 祈 禱
 奨 励 「神を畏るは学問の始め」
 祈 禱
 讃美歌 532 番 3 節
 主の祈り
 後 奏

1月13日(金)

奨励者 柳田 洋夫
 (人文学部チャプレン)
 司会者 菊地 順
 奏楽者 金 サラ(113C)
 ◆ ◆ ◆
 前 奏
 讃美歌 二編 25 番 1、2 節
 聖 書 マタイによる福音書
 28 章 16～20 節(新約 P.60)
 祈 禱
 奨 励 「主の愛に押し出されて」
 祈 禱
 讃美歌 二編 25 番 3 節
 主の祈り
 後 奏